

リストNo	20-001	施設コード	01432				
利用用途別分類(施設分類)	清掃施設						
施設名	西部清掃工場						
所在(町名・番地)	西区篠原町26098-1						
利用者の圏域別分類等	広域	非中山間地域					
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設				
所管課	本庁	環境部廃棄物処理課	課長名 平口 学				
	施設	環境部廃棄物処理課	課長名 平口 学				
設置根拠(法)	—						
条例	—						
設置目的	市域の家庭及び事業所から排出される一般廃棄物を適正処理し、環境負荷の低減を進めていく。						
主な利用者	市民、一般廃棄物収集運搬許可業者、一般廃棄物収集運搬受託者						
運営形態	施設包括管理委託						
指定管理または包括管理委託等の期間	2009/02/01 ~						
管理者名	浜松グリーンウェブ株式会社						
開館時間	—						
建物情報	総延床面積	15,373.33	土地面積	66,877.80			
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	66,877.80		
	地上階数(主要建物)	5					
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新					
	耐震工事(主要建物)	—				うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2009/2/1					
	経過年数(主要建物)	14					
用途地域	市街化調整区域						
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計				
	設置事業費	13,595,400	1,001,111	14,596,511			
財源	国・県	5,321,849	—	5,321,849			
	寄付金	—	—	—			
	その他	109,000	—	109,000			
	市債	6,984,000	995,000	7,979,000			
	一般財源	1,180,551	6,111	1,186,662			
特記事項	—						



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	479,195	485,707	486,721
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	323,341	328,882	330,063
	収入計(A)	802,536	814,589	816,784
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	974,687	997,635	997,280
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	974,687	997,635	997,280
行政コスト(B-A)	172,151	183,046	180,496	
収支前年比	94.05	101.41	150.05	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	443,796	443,796	443,796	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	1,662,499	7,276,931	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
24-013	篠原東排水機場	—	0.4	
05-004	古橋廣之進記念浜松市総合水泳場	広域	0.5	
03-042	篠原協働センター	生活	1.0	
14-051	浜松第38分団	コミュニティ	1.0	
24-012	篠原中排水機場	—	1.1	
15-120	篠原中学校	生活	1.1	
07-029	篠浜放課後児童会	生活	1.4	
15-042	篠原小学校	生活	1.4	



基本情報	リストNo	20-001	施設コード	01432	所管課	本庁	環境部廃棄物処理課	
	施設名	西部清掃工場			施設	環境部廃棄物処理課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		市域の家庭及び事業所から排出される一般廃棄物を適正処理し、環境負荷の低減を進めていく。						
		主な業務内容	可燃ごみ・下水汚泥・他工場焼却灰等の焼却溶融・再資源化、環境啓発施設「えこはま」での環境意識普及啓発					
		主な利用者	市民、一般廃棄物収集運搬許可業者、一般廃棄物収集運搬受託者					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 概ね同程度である。							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 同程度が予想される。							
	特記事項 契約上、契約終了1年前の時点で事業継続につき協議を行うとされている。							
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	
—		2021	—	—	—	—		
—		2020	—	—	—	—		
—		2020	—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—		
	—	2021	—	—	—	—		
	—	2020	—	—	—	—		
	—	2020	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	特になし						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
		統廃合	—	—	—	—		
	民活導入	複合化	—	—	—	—		
		広域化	—	—	—	—		
既にPPP/PFI手法を導入済である。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	11,198	11,907	11,741	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性					※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。		
		利用用途別分類毎の方向性	公共施設等総合管理計画より抜粋		利用用途別分類毎の方向性		公共施設等総合管理計画より抜粋	
個別方針	1資産の見直し		—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討導入済	(3)その他	—	
現在の施設は民間事業者に委託のうえ令和11年3月まで継続使用し、令和11年4月以降はDBO方式にて整備した新たな施設を稼働させる。								

リストNo	20-002	施設コード	02082		
利用用途別分類(施設分類)	清掃施設				
施設名	東部衛生工場				
所在(町名・番地)	東区豊町6441				
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設		
所管課	本庁	環境部廃棄物処理課	課長名 平口 学		
	施設	環境部廃棄物処理課	課長名 平口 学		
設置根拠(法)	—				
条例	—				
設置目的	市域の公共下水道未使用の家庭及び事業所から排出されるし尿及び浄化槽汚泥を適正処理し、環境負荷の低減を進めていく。				
主な利用者	一般廃棄物収集運搬許可業者				
運営形態	施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間	2005/04/01 ~				
管理者名	株式会社日本管財環境サービス				
開館時間	8:15 ~ 17:00				
建物情報	総延床面積	5,578.68	土地情報		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		土地面積	24,780.77
	地上階数(主要建物)	2		うち所有面積	24,637.00
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		うち借地面積	143.77
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	1986/3/31			
	経過年数(主要建物)	37			
用途地域	市街化調整区域				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
	設置事業費	3,581,376	—	3,581,376	
財源	国・県	878,400	—	878,400	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	2,195,000	—	2,195,000	
	一般財源	507,976	—	507,976	
特記事項	包括運転管理委託により、職員は常駐しない。				



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	20	20	17
	収入計(A)	20	20	17
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	219,839	208,540	168,328
	維持補修費(修繕費)	0	160	34,992
	物件費(光熱水費)	10	10	11
	物件費(借地料)	75	75	75
支出計(B)	219,924	208,785	203,406	
行政コスト(B-A)		219,904	208,765	203,389
収支前年比		105.34	102.64	105.28
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		33,428	33,428	33,428
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	60,920	57,428	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2021	消防設備更新工事	24,873	2018	受変電設備改修工事	3,240
2021	空調設備改修工事	16,830	2018	乾燥焼却設備整備工事	3,888
2020	乾燥焼却設備整備工事	10,340	2018	汚泥脱水設備等整備工事	8,316
2020	定期整備工事	22,220	2017	No.1取水井戸復旧工事	12,960
2019	計量装置更新工事	20,482	2017	長寿命化工事	594,000
2018	No.2取水井戸復旧工事	13,824	2016	長寿命化工事	594,000

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
03-036	ゆたか緑地集会所	生活	0.2	
11-008	発達医療総合福祉センター	市域	0.3	
05-043	高園ゲートボール場あずまや	小規模等	0.6	
05-022	浜北武道館	地域	1.0	
05-021	サンライフ浜北	地域	1.0	
15-033	豊西小学校	生活	1.3	
08-027	豊西幼稚園	生活	1.4	
07-022	とよにしっこ放課後児童会	生活	1.4	



基本情報	リストNo	20-002	施設コード	02082	所管課	本庁	環境部廃棄物処理課	
	施設名	東部衛生工場			施設	環境部廃棄物処理課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		市域の公共下水道未使用の家庭及び事業所から排出されるし尿及び浄化槽汚泥を適正処理し、環境負荷の低減を進めていく。						
		主な業務内容	し尿及び浄化槽汚泥の処理をするし尿処理施設					
		主な利用者	一般廃棄物収集運搬許可業者					
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか						
		天竜衛生センターを統合し、適正な処理を実施している						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測			地域特性や収集運搬計画との整合を図り適切な処理体制の維持			
		特記事項			計画的な施設整備を図り効率的な業務運営を進める			
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
事業③	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	経年劣化により施設が老朽化している。						
	対応策	予防保全を主体とした定期整備を実施し、安定的な処理体制の継続を図る。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
代替サービス		—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	H30 天竜衛生センターを東部衛生工場に統合した				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	運転管理業務を包括委託契約している。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	39,419	37,422	36,458	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
（縦軸）利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸）前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	ごみ減量の推進や公共下水道事業の普及により、ごみ排出量やし尿収集量が減少傾向にある中、長期的な見通しを考慮し、清掃工場については新清掃工場の整備を進め、統廃合を実施したし尿処理施設について更なる効率化の検討を行っていきます。今後、清掃工場については、西部清掃工場と令和6年度に稼働の新清掃工場の2施設体制としていきます。また、し尿処理施設についても、東部衛生工場と西部衛生工場の2施設体制としていきます。将来的には、更なる人口減少による処理量の減少を背景に、周辺自治体との連携による効率的な施設運営も視野に入れます。							
個別方針	1資産の見直し	H30統廃合済み	—	—	—	—	—		
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—		
し尿及び浄化槽汚泥の適正処理に必要な施設であるため、継続して使用する。									

リストNo	20-004	施設コード	01602	
利用用途別分類(施設分類)	清掃施設			
施設名	西部衛生工場			
所在(町名・番地)	西区伊左地町1570-2			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	環境部廃棄物処理課	課長名 平口 学	
	施設	環境部廃棄物処理課	課長名 平口 学	
設置根拠(法)	—			
条例	—			
設置目的	市域の公共下水道未使用の家庭及び事業所から排出されるし尿及び浄化槽汚泥を適正処理し、環境負荷の低減を進めていく。			
主な利用者	一般廃棄物収集運搬許可業者			
運営形態	施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間	2005/04/01 ~			
管理者名	クボタ環境エンジニアリング株式会社			
開館時間	8:15 ~ 17:00			
建物情報	総延床面積	20,109.99	土地面積 67,502.41	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	3		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	—		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1981/3/16		
	経過年数(主要建物)	42		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	5,565,759	—	5,565,759
財源	国・県	622,800	—	622,800
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	4,370,800	—	4,370,800
	一般財源	572,159	—	572,159
特記事項	包括運転管理委託により、職員は常駐しない。			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	11	220	11
	収入計(A)	11	220	11
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	104,016	104,016	104,068
	維持補修費(修繕費)	52,141	2,497	55,892
	物件費(光熱水費)	328,587	310,648	289,577
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	484,744	417,161	449,537	
行政コスト(B-A)	484,733	416,941	449,526	
収支前年比	116.26	92.75	112.83	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	70,275	70,275	70,275	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	1,770,753	562,200	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	第二調整槽防食工事	39,600	2020	アルカリ洗浄塔充填材取替工事	9,955
2022	第二調整槽開口蓋更新工事	7,645	2020	投入室自動扉改修工事	26,950
2021	受変電設備改修工事	19,566	2020	放流ポンプ2号機更新工事	16,500
2021	活性炭吸着塔更新工事	70,400	2019	流量計更新工事(西部分)	2,650
2021	消防設備更新工事	27,377	2019	雑排水ポンプ等更新工事	9,020
2020	計量システムデータ処理装置等改修工事	10,120	2019	床排水ポンプ及び希釈水流量計更新工事	10,120

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-043	農村環境改善センター	生活	0.5
14-013	西消防署湖東出張所	地域	0.6
03-097	北原会館	コミュニティ	0.6
03-088	湖東会館	コミュニティ	1.0
08-014	神田原保育園	生活	1.4
13-030	西山団地	地域	1.5
03-093	西山会館	コミュニティ	1.5
03-089	湖東西会館	コミュニティ	1.6



基本情報	リストNo	20-004	施設コード	01602	所管課	本庁	環境部廃棄物処理課			
	施設名	西部衛生工場			施設	環境部廃棄物処理課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
施設運営分析	複合施設	—								
	関連政策名	安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		市域の公共下水道未使用の家庭及び事業所から排出されるし尿及び浄化槽汚泥を適正処理し、環境負荷の低減を進めていく。								
		主な業務内容	し尿及び浄化槽汚泥を希釈し、公共下水道へ放流する施設							
		主な利用者	一般廃棄物収集運搬許可業者							
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか								
		細江し尿処理センターを統合し、適正な処理を実施している				地域特性や収集運搬計画との整合を図り適切な処理体制の維持				
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				計画的な施設整備を図り効率的な業務運営を進める				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数				
		—	2021	—	—	—				
		—	2020	—	—	—				
事業②		—	2022	—	—	—				
		—	2021	—	—	—				
		—	2020	—	—	—				
事業③		—	2022	—	—	—				
		—	2021	—	—	—				
		—	2020	—	—	—				
事業④	—	2022	—	—	—					
	—	2021	—	—	—					
	—	2020	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	経年劣化により施設設備が老朽化している。								
	対応策	予防保全を主体とした定期整備及び長寿命化工事を実施し、安定的な処理体制の継続を図る。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	H29 細江し尿処理センターを西部衛生工場に統合した				
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					
民生活導入	運転管理業務を包括委託している。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	24,104	20,733	22,353	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	公共施設等総合管理計画より抜粋 ごみ減量の推進や公共下水道事業の普及により、ごみ排出量やし尿収集量が減少傾向にある中、長期的な見通しを考慮し、清掃工場については新清掃工場の整備を進め、統廃合を実施したし尿処理施設について更なる効率化の検討を行っていきます。今後、清掃工場については、西部清掃工場と令和6年度に稼働の新清掃工場の2施設体制としていきます。また、し尿処理施設についても、東部衛生工場と西部衛生工場の2施設体制としていきます。将来的には、更なる人口減少による処理量の減少を背景に、周辺自治体との連携による効率的な施設運営も視野に入れます。							
		1資産の見直し	H29統廃合済み	—	—	—	—	—	
2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—		
し尿及び浄化槽汚泥の適正処理に必要な施設であるため、継続して使用する。									

基本情報	リストNo	20-005	施設コード	01603	所管課	本庁	環境部廃棄物処理課	
	施設名	西部衛生工場神原ポンプ場			施設	環境部廃棄物処理課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		西部衛生工場の運転管理に必要な希釈水用ポンプ場(工業用水)						
		主な業務内容	西部衛生工場の希釈水用ポンプ場					
		主な利用者	西部衛生工場の運転管理受託者等					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 公共下水道の基準を遵守するために必要なポンプ場である。							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 ニーズ変化はない。							
	特記事項 —							
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	
事業②	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—		
		2019	—	—	—	—		
事業③	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—		
		2019	—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—		
		2019	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	ポンプ場設備及び西部衛生工場までの管路の経年劣化が進んでいる。						
	対応策	ポンプ場、西部衛生工場までの管路等を定期的に点検し、必要に応じて設備機器の修繕等を行う。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
管理主体変更		—	—	—	—			
代替サービス		—	—	—	—			
民活導入	統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—			
運転管理業務を包括委託している。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	806	4,955	4,955	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	公共施設等総合管理計画より抜粋 利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
		ごみ減量の推進や公共下水道事業の普及により、ごみ排出量やし尿収集量が減少傾向にある中、長期的な見通しを考慮し、清掃工場については新清掃工場の整備を進め、統廃合を実施したし尿処理施設について更なる効率化の検討を行っていきます。今後、清掃工場については、西部清掃工場と令和6年度に稼働の新清掃工場の2施設体制としていきます。また、し尿処理施設についても、東部衛生工場と西部衛生工場の2施設体制としていきます。将来的には、更なる人口減少による処理量の減少を背景に、周辺自治体との連携による効率的な施設運営も視野に入れます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
西部衛生工場への運転管理に必要な工業用水を供給しているため、維持管理を継続する。									

リストNo	20-006	施設コード	02499	
利用用途別分類(施設分類)	清掃施設			
施設名	平和最終処分場			
所在(町名・番地)	西区平松町・和地町地内			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	環境部廃棄物処理課	課長名 平口 学	
	施設	環境部平和清掃事業所	課長名 宮崎 幹啓	
設置根拠(法)	—			
条例	—			
設置目的	家庭から排出される不燃性一般廃棄物を埋立処分する一般廃棄物処理施設(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2)			
主な利用者	市民、一般廃棄物収集運搬許可業者、一般廃棄物収集運搬受託者			
運営形態	施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	9,304.29	土地面積 267,216.31	
	構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1992/10/1		
	経過年数(主要建物)	30		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	8,758,079	—	8,758,079
財源	国・県	2,592,142	—	2,592,142
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	4,644,800	—	4,644,800
	一般財源	1,521,137	—	1,521,137
特記事項	—			



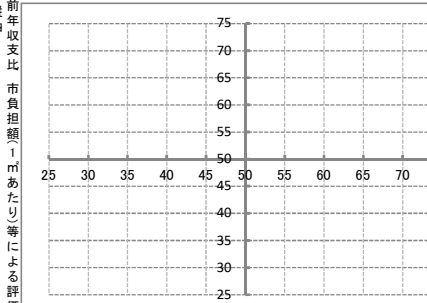
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	17,813	15,925	15,813
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	66,446	81,419	29,229
	収入計(A)	84,259	97,344	45,042
支出(千円)	人件費	177,400	180,800	181,600
	物件費(委託料)	14,949	15,920	16,987
	維持補修費(修繕費)	6,768	5,327	5,580
	物件費(光熱水費)	66,638	52,060	48,254
	物件費(借地料)	1,142	1,142	1,142
	支出計(B)	266,897	255,249	253,563
行政コスト(B-A)		182,638	157,905	208,521
収支前年比		115.66	75.73	98.46
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		56,439	56,439	57,105
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	506,921	514,705	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	回転式破砕機等整備工事第1回	68,200	2022	第2期埋立地築堤芝張工事	3,245
2022	回転式破砕機等整備工事第4回	38,500	2021	令和3年度 平和最終処分場浸出水処理施設ポンプ及び配管設備改修工事	13,200
2022	回転式破砕機等整備工事第2回	15,400	2021	令和3年度 平和最終処分場センター回転式破砕機等整備工事第3回	27,280
2022	浸出水処理施設配管及び電気設備改修工事	12,540	2021	令和3年度 平和最終処分場センター回転式破砕機等整備工事	10,267
2022	浸出水処理施設薬品タンク改修工事	12,430	2021	令和3年度 平和最終処分場センター回転式破砕機等整備工事第2回	91,300
2022	浸出水処理施設データロガ装置更新工事	5,280	2021	平和最終処分場センター回転式破砕機等整備工事第1回	32,890

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
20-007	静ヶ谷排水処理施設	地域	1.8
同分類			
その他の分類			
03-096	平松会館	コミュニティ	0.5
04-005	フラワーパーク	広域	0.7
25-049	上下水道部西営業所		1.1
14-052	浜松第39分団	コミュニティ	1.2
08-037	北庄内幼稚園	生活	1.2
18-064	旧北庄内小学校	地域	1.2
16-003	動物愛護教育センター	市域	1.2
04-004	動物園	広域	1.2



基本情報	リストNo	20-006	施設コード	02499	所管課	本庁	環境部廃棄物処理課			
	施設名	平和最終処分場			施設	環境部平和清掃事業所				
	人員数	正規職員(人)	21	会計年度任用職員(人)	7	再任用(人)	3			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		家庭から排出される不燃性一般廃棄物を埋立処分する一般廃棄物処理施設(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2)								
		主な業務内容	埋立処分、浸出水処理、一般廃棄物(粗大・不燃ごみ)の破碎処理、プラスチック製容器包装の圧縮減容							
		主な利用者	市民、一般廃棄物収集運搬許可業者、一般廃棄物収集運搬受託者							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			当初計画に比べ埋立量がやや低く推移している						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			現在の埋立量を維持する見通し						
	特記事項			—						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業②		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業③		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
	—	2022	—	—	—	—				
事業④	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
	—	2022	—	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	浸出水処理施設の老朽化により、設備の腐食等が進行している。								
	対応策	浸出水処理施設は、定期的に保守点検を行うとともに、ポンプ類の交換や処理槽の改修等の整備を計画的に実施していく。また、浜松市公共建築物長寿命化指針に基づいた大規模改修を行うための検討をしていく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	○	—	—	天竜清掃工場建設に伴い、破碎処理センターは令和5年度末まで安全かつ安全運転				
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	浸出水処理施設の運転管理業務は、民間に委託している。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	19,629	16,971	22,411	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	ごみ減量の推進や公共下水道事業の普及により、ごみ排出量やし尿収集量が減少傾向にある中、長期的な見通しを考慮し、清掃工場については新清掃工場の整備を進め、統廃合を実施したし尿処理施設について更なる効率化の検討を行っていきます。今後、清掃工場については、西部清掃工場と令和6年度に稼働の新清掃工場の2施設体制としていきます。また、し尿処理施設についても、東部衛生工場と西部衛生工場の2施設体制としていきます。将来的には、更なる人口減少による処理量の減少を背景に、周辺自治体との連携による効率的な施設運営も視野に入れます。						
個別方針	1資産の見直し	統廃合	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
令和5年度末に破碎処理センターは休止するが、最終処分場、清掃事業所は継続して適正に管理する。								

リストNo	20-007	施設コード	01623	
利用用途別分類(施設分類)	清掃施設			
施設名	静ヶ谷排水処理施設			
所在(町名・番地)	西区呉松町3291-1			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	環境部廃棄物処理課	課長名 平口 学	
	施設	環境部廃棄物処理課	課長名 平口 学	
設置根拠(法)	—			
条例	—			
設置目的	静ヶ谷最終処分場から発生する浸出水を適正に処理し、水質保全に努める。			
主な利用者	—			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	210.00	土地面積 1,183.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1980/8/1		
	経過年数(主要建物)	42		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	322,000	37,856	359,856	
財源	国・県	63,383	—	63,383
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	218,400	—	218,400
	一般財源	40,217	37,856	78,073
特記事項	・R3.3.31より休止			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	33	7,862
	維持補修費(修繕費)	202	794	1,308
	物件費(光熱水費)	0	335	938
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	202	1,162	10,108	
行政コスト(B-A)		202	1,162	10,108
収支前年比		17.38	11.50	150.87
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	38	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
20-006	平和最終処分場	地域	1.8
24-038	三和第2排水機場	—	0.9
04-005	フラワーパーク	広域	1.5
04-004	動物園	広域	1.5
16-003	動物愛護教育センター	市域	1.5
08-047	伊目幼稚園	生活	1.5
07-048	伊目放課後児童クラブ	生活	1.5
15-058	伊目小学校	生活	1.5
08-040	和地幼稚園	生活	1.6



基本情報	リストNo	20-007	施設コード	01623	所管課	本庁	環境部廃棄物処理課	
	施設名	静ヶ谷排水処理施設			施設	環境部廃棄物処理課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		静ヶ谷最終処分場から発生する浸出水を適正に処理し、水質保全に努める。						
		主な業務内容	—					
		主な利用者	—					
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測			埋立地が安定化し最終処分場として廃止となれば、解体する。			
		特記事項						
		—						
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			—					
	事業②	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
2020			—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	経年劣化により、建物の老朽化が進んでいる。						
	対応策	施設を定期的に点検し、適正な管理を行う。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	○	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合		—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	—							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	962	5,533	48,133	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	公共施設等総合管理計画より抜粋 利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。				ごみ減量の推進や公共下水道事業の普及により、ごみ排出量やし尿収集量が減少傾向にある中、長期的な見通しを考慮し、清掃工場については新清掃工場の整備を進め、統廃合を実施したし尿処理施設について更なる効率化の検討を行っていきます。今後、清掃工場については、西部清掃工場と令和6年度に稼働の新清掃工場の2施設体制としていきます。また、し尿処理施設についても、東部衛生工場と西部衛生工場の2施設体制としていきます。将来的には、更なる人口減少による処理量の減少を背景に、周辺自治体との連携による効率的な施設運営も視野に入れます。			
		1資産の見直し	廃止	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—		
排水処理は停止しており、埋立地が安定化したのち廃止する。									

リストNo	20-008	施設コード	02145			
利用用途別分類(施設分類)	清掃施設					
施設名	南部清掃工場					
所在(町名・番地)	南区江之島町1715					
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設			
所管課	本庁	環境部廃棄物処理課	課長名 平口 学			
	施設	環境部南清掃事業所	課長名 鈴木 章良			
設置根拠(法)	—					
条例	—					
設置目的	市内から発生する一般廃棄物を処理するための施設(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2)					
主な利用者	市民、一般廃棄物収集運搬許可業者、一般廃棄物収集運搬受託者					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	—					
建物情報	総延床面積	17,225.92	土地面積	22,106.28		
	構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造		うち所有面積	22,106.28	
	地上階数(主要建物)	6			うち借地面積	0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	0.94				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1981/3/24				
	経過年数(主要建物)	42				
用途地域	市街化調整区域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	—	—	—		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	—	—	—			
特記事項	—					



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	428,515	443,446	446,841
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	91,820	89,077	114,266
	収入計(A)	520,335	532,523	561,107
支出(千円)	人件費	504,600	513,200	519,000
	物件費(委託料)	161,861	151,458	162,467
	維持補修費(修繕費)	1,460	1,394	1,491
	物件費(光熱水費)	60,044	48,068	41,799
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	727,965	714,120	724,757
行政コスト(B-A)		207,630	181,597	163,650
収支前年比		114.34	110.97	214.86
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		23,982	23,982	23,982
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	732,824	50,003	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	焼却設備補修工事(2回目)	99,000	2020	令和2年度 浜松市南清掃事業所無停電電源装置点検対応工事	9,350
2022	焼却設備補修工事(1回目)	99,000	2020	令和2年度 南清掃事業所 第1号ボイラ2-3/4ス仕切水管補修工事	4,400
2022	焼却プラント設備電源装置等修繕工事	96,800	2020	令和2年度 浜松市南清掃事業所焼却設備補修工事(3回目)	97,900
2022	第2号ボイラ一燃焼室側壁(LR側)キャスタブル修繕工事	4,840	2020	令和2年度 浜松市南清掃事業所焼却設備補修工事(2回目)	82,500
2021	令和3年度 浜松市南清掃事業所焼却設備補修工事(2回目)	148,500	2020	令和2年度 南清掃事業所 第2号ボイラ2-3/4ス仕切水管補修工事	4,840
2021	令和3年度 浜松市南清掃事業所焼却設備補修工事(1回目)	149,600	2020	令和2年度 浜松市南清掃事業所 第2号ボイラ給水ポンプ修繕工事	4,785

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
24-023	五島西排水機場	—	0.1
05-015	江之島アーチェリー場	地域	0.2
15-123	江南中学校	生活	0.4
13-042	遠州浜団地福祉住宅	地域	0.6
13-044	遠州浜団地	地域	0.6
10-011	ふれあい交流センター江之島	地域	0.8
01-016	南区役所	地域	0.9
17-005	遠州灘海浜公園	地域	1.1



基本情報	リストNo	20-008	施設コード	02145	所管課	本庁	環境部廃棄物処理課
	施設名	南部清掃工場			施設	環境部南清掃事業所	
	人員数	正規職員(人)	60	会計年度任用職員(人)	19	再任用(人)	4
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		市内から発生する一般廃棄物を処理するための施設(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2)					
		主な業務内容	一般廃棄物(可燃ごみ)の焼却処理				
		主な利用者	市民、一般廃棄物収集運搬許可業者、一般廃棄物収集運搬受託者				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		概ね同程度である				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		新清掃工場建設に伴い、令和5年度まで安全かつ安定運転				
	特記事項		—				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2019	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の老朽化対策について					
	対応策	安全かつ安定的にごみ処理を行なうため、定期的な南部清掃工場の整備を継続する。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	○	—	—	新清掃工場建設に伴い、令和5年度末まで安全かつ安定運転			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	12,053	10,542	9,500	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) / 利用状況等による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	公共施設等総合管理計画より抜粋 利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
		1資産の見直し	統廃合	—	—	—	—	—	
		2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
令和5年度末に休止の上、令和6年度以降、仕舞い処理後、廃止する。									

リストNo	20-010	施設コード	01003			
利用用途別分類(施設分類)	清掃施設					
施設名	引佐最終処分場					
所在(町名・番地)	北区引佐町三岳610-3					
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設			
所管課	本庁	環境部廃棄物処理課	課長名 平口 学			
	施設	環境部平和清掃事業所	課長名 宮崎 幹啓			
設置根拠(法)	—					
条例	—					
設置目的	家庭から排出される不燃性一般廃棄物を埋立処分する一般廃棄物処理施設(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2)					
主な利用者	一般廃棄物収集運搬受託者、一般廃棄物許可業者					
運営形態	施設包括管理委託					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	—					
建物情報	総延床面積	956.81	土地面積	98,900.00		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	98,900.00	
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積	0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1997/2/28				
	経過年数(主要建物)	26				
用途地域	都市計画区域外					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	2,459,455	—	2,459,455		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	1,860,000	—	1,860,000		
一般財源	599,455	—	599,455			
特記事項	・浸出水処理施設の運転管理は委託。埋立地は直営。					



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	374	374	374
	維持補修費(修繕費)	0	184	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	374	558	374	
行政コスト(B-A)		374	558	374
収支前年比		67.03	149.20	84.81
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,515	2,576	2,576
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	2,176	39,272	—	

年度	内容	金額(千円)		
		年度	内容	金額(千円)
2022	浸出水処理施設汚泥脱水機整備工事	4,136		
2019	令和元年 引佐最終処分場浸出水処理施設取組一斉実施業務改善等工事	4,698		
2017	平成29年度 引佐最終処分場浸出水処理施設汚泥脱水機改修工事	4,039		

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
08-058	金指幼稚園	生活	1.8
25-013	谷津ポンプ場	—	1.9
24-032	吉影排水機場	—	1.9
15-063	都田小学校	生活	2.0



基本情報	リストNo	20-010	施設コード	01003	所管課	本庁	環境部廃棄物処理課			
	施設名	引佐最終処分場			施設	環境部平和清掃事業所				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
施設運営分析	複合施設	—								
	関連政策名	安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		家庭から排出される不燃性一般廃棄物を埋立処分する一般廃棄物処理施設(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2)								
		主な業務内容	埋立処分、浸出水処理							
		主な利用者	一般廃棄物収集運搬受託者、一般廃棄物許可業者							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			当初計画に比べ埋立量が低く推移している						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			現在の埋立量を維持する見通し						
	特記事項			—						
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況					
	事業①	—	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
	事業②	—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
	事業③	—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
事業④	—	2022	—	—	—	—				
	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	浸出水処理施設の老朽化により、設備の腐食等が進行している。								
	対応策	浸出水処理施設は、定期的に保守点検を行うとともに、ポンプ類の交換や処理槽の改修等の整備を計画的に実施していく。また、持続可能なごみ処理体制を維持するために有効な活用方法を検討していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
統廃合		—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民活導入	浸出水処理施設の運営管理業務は、民間に委託している。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	391	583	391	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性							
		<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>利用状況等による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>						
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>公共施設等総合管理計画より抜粋</p> <p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p> <p>ごみ減量の推進や公共下水道事業の普及により、ごみ排出量やし尿収集量が減少傾向にある中、長期的な見通しを考慮し、清掃工場については新清掃工場の整備を進め、統廃合を実施したし尿処理施設について更なる効率化の検討を行っていきます。今後、清掃工場については、西部清掃工場と令和6年度に稼働の新清掃工場の2施設体制としていきます。また、し尿処理施設についても、東部衛生工場と西部衛生工場の2施設体制としていきます。将来的には、更なる人口減少による処理量の減少を背景に、周辺自治体との連携による効率的な施設運営も視野に入れます。</p>						
		1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
継続して適正に管理する。								

基本情報	リストNo	20-011	施設コード	02402	所管課	本庁	環境部廃棄物処理課			
	施設名	浜北清掃センター			施設	環境部浜北環境事業所				
	人員数	正規職員(人)	22	会計年度任用職員(人)	2	再任用(人)	5			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		市内から発生する一般廃棄物を処理するための施設(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2)								
		主な業務内容	一般廃棄物(連絡ごみ)の収集業務							
		主な利用者	市民、一般廃棄物収集運搬受託者							
	設置目的の継続性・妥当性									
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 焼却施設は休止中であるが、一般廃棄物の自己搬入、中間保管及び収集拠点として利用。									
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 引き続き一定量のニーズは見込まれる。									
	特記事項 —									
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数				
		—	2021	—	—	—				
		—	2020	—	—	—				
事業②		—	2022	—	—	—				
		—	2021	—	—	—				
		—	2020	—	—	—				
事業③		—	2022	—	—	—				
		—	2021	—	—	—				
		—	2020	—	—	—				
事業④	—	2022	—	—	—					
	—	2021	—	—	—					
	—	2020	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の老朽化対策について								
	対応策	建物の定期的な点検を行い、必要最小限の補修等を行う。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
統廃合	—	—	—	—						
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民活導入	—									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	43,091	42,808	42,910	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	ごみ減量の推進や公共下水道事業の普及により、ごみ排出量やし尿収集量が減少傾向にある中、長期的な見通しを考慮し、清掃工場については新清掃工場の整備を進め、統廃合を実施したし尿処理施設について更なる効率化の検討を行っていきます。今後、清掃工場については、西部清掃工場と令和6年度に稼働の新清掃工場の2施設体制としていきます。また、し尿処理施設についても、東部衛生工場と西部衛生工場の2施設体制としていきます。将来的には、更なる人口減少による処理量の減少を背景に、周辺自治体との連携による効率的な施設運営も視野に入れます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
焼却は休止しているが、一般廃棄物の受入施設として活用しているため、維持管理を継続する。工場棟は廃止する。								

基本情報	リストNo	20-013	施設コード	02386	所管課	本庁	環境部廃棄物処理課	
	施設名	浜北環境センター			施設	施設	環境部浜北環境事業所	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		一般廃棄物を適正に埋立処分するための施設(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2)						
		主な業務内容	一般廃棄物埋立処分地施設の適正な運営維持管理業務					
		主な利用者	—					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		現在の埋立進捗率が計画より低く推移しているため、継続して埋立処分が可能である。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		一般廃棄物を適正に処分するため、地元町内会と協議を行った結果、令和4年度から6年間の延長を行った。					
	特記事項		埋立期間の再延長を行う場合、地元との協議が必要になる。					
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
	事業②	—	2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
	事業③	—	2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
2022			—	—	—	—		
事業④	—	2021	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—		
		2022	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	機械設備の老朽化対策について						
	対応策	安全かつ安定的に浸出水処理を行うため、ポンプ類の整備を継続する。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民生活導入	—							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	17,049	12,873	16,023	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
		ごみ減量の推進や公共下水道事業の普及により、ごみ排出量やし尿収集量が減少傾向にある中、長期的な見通しを考慮し、清掃工場については新清掃工場の整備を進め、統廃合を実施したし尿処理施設について更なる効率化の検討を行っていきます。今後、清掃工場については、西部清掃工場と令和6年度に稼働の新清掃工場の2施設体制としていきます。また、し尿処理施設についても、東部衛生工場と西部衛生工場の2施設体制としていきます。将来的には、更なる人口減少による処理量の減少を背景に、周辺自治体との連携による効率的な施設運営も視野に入れます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	継続して適正に管理する。								

リストNo	20-014	施設コード	01975	
利用用途別分類(施設分類)	清掃施設			
施設名	天竜ごみ処理工場			
所在(町名・番地)	天竜区小川558-3			
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	環境部廃棄物処理課	課長名 平口 学	
	施設	環境部天竜環境事業所	課長名 高村 保計	
設置根拠(法)	—			
条例	—			
設置目的	市内(主に天竜区内)から発生する一般廃棄物を処理するための施設			
主な利用者	市民及び事業者(事業系一般廃棄物排出者)			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	3,558.57	土地面積 12,857.55	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	4		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	うち所有面積	0.00		
	耐震工事(主要建物)	—		
	うち借地面積	12,857.55		
代表地目(現況地目)				
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	2,086,688	—	2,086,688
	国・県	397,336	—	397,336
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	1,423,800	—	1,423,800
一般財源	265,552	—	265,552	
特記事項	—			



項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	805	872	812
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	805	872	812
支出(千円)	人件費	107,600	107,600	107,600
	物件費(委託料)	2,068	2,069	1,972
	維持補修費(修繕費)	695	2,391	4,095
	物件費(光熱水費)	4,426	3,372	2,929
	物件費(借地料)	1,173	1,173	1,173
	支出計(B)	115,962	116,605	117,769
行政コスト(B-A)	115,157	115,733	116,957	
収支前年比	99.50	98.95	110.80	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	21,177	21,177	21,177	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	424,328	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
14-108	天竜第7分団小川	コミュニティ	1.9



基本情報	リストNo	20-014	施設コード	01975	所管課	本庁	環境部廃棄物処理課			
	施設名	天竜ごみ処理工場			施設	環境部天竜環境事業所				
	人員数	正規職員(人)	12	会計年度任用職員(人)	3	再任用(人)	6			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		市内(主に天竜区内)から発生する一般廃棄物を処理するための施設								
		主な業務内容	一般廃棄物の収集・運搬及び受入業務							
		主な利用者	市民及び事業者(事業系一般廃棄物排出者)							
	設置目的の継続性・妥当性									
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 焼却施設は休止中であるが、一般廃棄物の自己搬入、中間保管及び収集拠点として利用。									
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 人口減少などに伴い需要変化はあるが、引き続き一定量のニーズは見込まれる。									
	特記事項 —									
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	—			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
事業②		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
	—	2021	—	—	—	—				
事業③	—	2020	—	—	—	—				
	—	2022	—	—	—	—				
	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
事業④	—	2022	—	—	—	—				
	—	2021	—	—	—	—				
	—	2020	—	—	—	—				
	—	2022	—	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	経年劣化に伴う、施設の保全について								
	対応策	解体までの間、適正な施設管理を行う。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	○	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
統廃合		—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民活導入	—									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	32,360	32,522	32,866	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) 利用状況等による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	1資産の見直し	廃止	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
令和5年度末をもって天竜清掃工場へ機能移転し、令和6年度以降、廃止する。									

リストNo	20-015	施設コード	01487			
利用用途別分類(施設分類)	清掃施設					
施設名	水窪・佐久間クリーンセンター					
所在(町名・番地)	天竜区水窪町奥領家2259-2					
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域				
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設			
所管課	本庁	環境部廃棄物処理課	課長名 平口 学			
	施設	環境部天竜環境事業所	課長名 高村 保計			
設置根拠(法)	—					
条例	—					
設置目的	市内(主に水窪・佐久間地区)から発生する一般廃棄物を処理するための施設					
主な利用者	市民及び事業者(事業系一般廃棄物排出者)					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	—					
建物情報	総延床面積	1,552.56	土地面積	5,773.70		
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	3,415.93	
	地上階数(主要建物)	4			うち借地面積	2,357.77
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1993/12/25				
	経過年数(主要建物)	29				
用途地域	都市計画区域外					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	949,600	—	949,600		
	国・県	64,600	—	64,600		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	299,900	—	299,900		
一般財源	585,100	—	585,100			
特記事項	—					



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	577	587	648
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	3	0
	収入計(A)	577	590	648
支出(千円)	人件費	35,800	36,600	38,800
	物件費(委託料)	751	687	728
	維持補修費(修繕費)	600	326	942
	物件費(光熱水費)	869	930	821
	物件費(借地料)	357	357	357
	支出計(B)	38,377	38,900	41,648
行政コスト(B-A)		37,800	38,310	41,000
収支前年比		98.67	93.44	92.11
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		32,184	32,184	32,184
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	16,969	49,866	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2016	屋根防水改修工事	12,106			

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	その他の分類	02-005	神原上教職員住宅	地域
02-010		神原市有住宅	地域	0.6
14-143		水窪第1分団第3部大里詰所ほか3施設	コミュニティ	0.7
02-004		神原下教職員住宅	地域	0.7
15-095		水窪小学校	生活	0.7
10-018		水窪高齢者交流センター	地域	0.8
25-021		旧簡易水道新道	—	0.8
13-076		水窪団地	地域	0.8



基本情報	リストNo	20-015	施設コード	01487	所管課	本庁	環境部廃棄物処理課
	施設名	水窪・佐久間クリーンセンター			施設	環境部天竜環境事業所	
	人員数	正規職員(人)	3	会計年度任用職員(人)	4	再任用(人)	1
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	安全・安心で安定したごみ・し尿等の処理					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		市内(主に水窪・佐久間地区)から発生する一般廃棄物を処理するための施設					
		主な業務内容	一般廃棄物の収集・運搬及び受入れ業務				
		主な利用者	市民及び事業者(事業系一般廃棄物排出者)				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 焼却施設は休止中であるが、一般廃棄物の自己搬入、中間保管及び収集拠点として利用。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 人口減少などに伴い需要変化はあるが、引き続き一定量のニーズは見込まれる。						
	特記事項 —						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
	—	2020	—	—	—		
事業③	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の老朽化対策について					
	対応策	建物の定期的な点検を行い、必要最小限の修繕等を行う。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	24,347	24,675	26,408	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	公共施設等総合管理計画より抜粋 利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
		ごみ減量の推進や公共下水道事業の普及により、ごみ排出量やし尿収集量が減少傾向にある中、長期的な見通しを考慮し、清掃工場については新清掃工場の整備を進め、統廃合を実施したし尿処理施設について更なる効率化の検討を行っていきます。今後、清掃工場については、西部清掃工場と令和6年度に稼働の新清掃工場の2施設体制としていきます。また、し尿処理施設についても、東部衛生工場と西部衛生工場の2施設体制としていきます。将来的には、更なる人口減少による処理量の減少を背景に、周辺自治体との連携による効率的な施設運営も視野に入れます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—		
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
ごみの収集運搬の拠点等として、今後も使用していく。									